

科目名		授業形態	担当教員名	
作業療法特論Ⅱ		演習	岡田 誠暁・山本 翔太	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
この授業では、作業療法士を目指すうえでの最低限の技能（コミュニケーション・援助・支援など）習得に向け、演習・グループワークを用いて学ぶ。また半期毎の自身の目標への取り組みを内省し、客観的に自己評価ができるようになることを目指す。				
授業の到達目標				
1. 医療人・職業人として望ましい態度をとることができる。 2. 計画・実施・振り返りのプロセスを経験し、経験の中からの学びや課題について説明できる。 3. 自身の考えや行動などについて論理的に説明ができる。 4. 医療人としての最低限の技能を習得できる。 5. 半期毎の自身の目標への取り組みを内省し、妥当な目標を再設定することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 車椅子駆動介助 OSCE説明・練習			
2	車椅子駆動介助・血圧・体温脈拍測定 OSCE説明・練習			
3	車椅子駆動介助・血圧・体温脈拍測定 OSCE実技練習			
4	車椅子駆動介助・血圧・体温脈拍測定 OSCE実技練習			
5	車椅子介助・血圧・体温脈拍測定 OSCE試験			
6	接遇とマナー			
7	安全管理 KYT			
8	神大解剖学実習準備（ROM実技練習）			
9	神大解剖学実習（ROM実技練習）			
10	コミュニケーション			
11	コミュニケーション演習			
12	ディベートとは			
13	ディベート計画（MMT実技練習）			
14	ディベート実施（MMT実技練習）			
15	まとめ ポートフォリオ面接			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト				
平常点	20%	授業への参加態度（道具・材料の準備や後片づけを含む）		
その他	80%	ポートフォリオ面接(40%)および実技試験(40%)の結果で評価する		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
特に指定しない				
自由記載				
備考				
グループワークを実施する。グループワークでは積極的に参加すること。予定変更となった場合通達する。				